

2026年3月号

節分で  
豆まき

各施設で節分の行事で「豆まき」をしました。  
ご利用者が「鬼は～外～」 「福は～内～」と大声出してカ一杯豆を投げていました。あい寿の丘では鬼に扮した職員に目がけて投げ、みなみ苑では鬼に見立てた置物を作りそれに目がけて投げました。「これで今年もいい年になるね」「縁起がいいね」など言いながら楽しんでいました。



## 南知多町デイサービスセンター「鬼倒しゲーム」

節分の時期恒例のレクリエーションと言えば「鬼倒しゲーム」です。ご利用者は、「鬼は外!」と言いながら鬼の的に目がけて精いっぱい投げます。的がなかなか倒れないので、思わず立ち上がって投げているご利用者もいました。



## 南知多町デイサービスセンター「鯛の壁面」



朝日を背に、大きな黒鯛が波しぶきの中で飛び跳ねている壁面が出来上がりました。

ご利用者が細かな模様をペンで塗ったものを、鯛のうろこにみたてて貼りました。波しぶきは、画用紙にねじって作った青いお花紙を貼り、白い縁どりをつけることで、立体感を出しました。「黒い鯛はめずらしくて、立派にできたね」「塗り絵したのをうろこにするなんて、考えたね」と、しばらく観察していました。

## あい寿の丘「みかんのぬり絵」

ご利用者とみかんのぬり絵をしました。「どんな色で塗ろうかな」「みかんだよね?何色だったかしらん」「次は何色重ねようかしら、難しいわあ」と言いながら楽しそうに塗って、個性豊かな作品が出来ました。



## 南知多町デイサービスセンターサテライト「缶積みゲーム」

缶積みゲームは、アルミの空き缶に色紙で色付けをした缶でどれだけ高く缶を積み重ねることができるか競うゲームです。ご利用者は7~8個くらいで倒れてしまう方が多く、何度も挑戦し13個以上積み重ねる方もいました。積みあがった缶が倒れそうになると「あ〜っ」と大きな声が出て楽しそうでした。中には横に並べて壁状にする方もいました。



## あい寿の丘・ひだまり「消火訓練」

知多南部消防署の職員に来ていただき消火訓練を行いました。職員は水の入った消火器を使い消防署職員の指導のもと火事を想定した的に向けて実際に放水をしました。的にうまく当てる為の姿勢や噴射のコツなどを教えていただき、実践的に学ぶことが出来ました。

訓練を通じて、防火・防災に対する意識をより一層高め、万が一の際に迅速かつ適切に対応できる体制を作っております。



## みなみ苑「白玉ぜんざい」



白玉ぜんざいを作りました。「美味しいなあ」「おかわりある?」「今度は塩気のあるのもいいね」「しょっちゅうでもいいよ」と喜んで召し上がっていました。